

# 工事施工の創意工夫

(一社) 静岡県土木施工管理技士会

株式会社 橋本組

工務部 稲毛 論史

Satoshi Inage

技術者証登録番号 00074912

## 工事概要

- 工事名 : 平成28年度 [第28-I1741-01号]  
(国) 150号安全・安心緊急道路対策事業 (災害防除) 工事 (舗装工)
- 工期 : 平成28年9月14日 ~ 平成29年1月20日
- 施工箇所 : 静岡県焼津市石脇下 地内
- 発注者 : 静岡県島田土木事務所
- 受注者 : 株式会社 橋本組

## 1.はじめに

本工事は静岡県焼津市石脇下地内を走る、国道150号線上下線に於いて表層(本線) 3,590m<sup>2</sup>(t=50mm)・中間層A(本線)2,840m<sup>2</sup>(t=53mm)・中間層B(本線)2,340m<sup>2</sup> (t=43mm)・表層(支線・縁石工B部)100m<sup>2</sup>・表層(縁石工C部)7m<sup>2</sup> 路面切削工(本線)3,400m<sup>2</sup> (t=41mm)を、夜間作業(21:00~翌6:00)にて、舗装を嵩上げする工事である。それに伴い区画線も新設する。今回施工する区間の国道150号は、集中豪雨等により冠水する場所であるため、中央分離帯及び路肩の歩車道境界ブロックの嵩上げ工事の完了後に施工し、工事区間長L=248mの冠水しないGLに摺り付けを行い水はけのよい道路にする工事であります。

現在国道150号は、静岡市清水区を起点とし、主として県の沿岸部を西進し、終点浜松市に至る延長約121kmの主要幹線道路で、道路機能のマヒに伴い地域経済にも大きな影響を与えています。このため、安全で円滑な交通の流れを確保するため、バイパスの整備など各所で行われています。



国道 150 号道路 工事完成  
起点側下り線



国道 150 号道路 工事完成  
起点側下り線



国道 150 号道路 工事完成  
終点側上り線



国道 150 号道路 工事完成  
終点側下り線

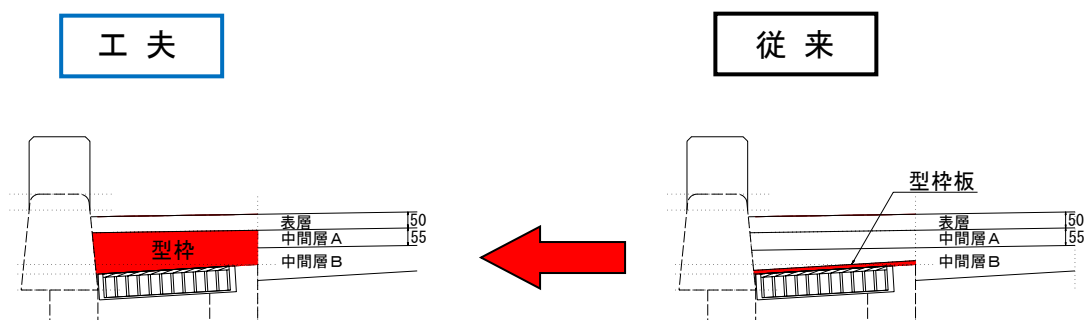
## 2.現場における問題点

- (1) 既設の街渠柵の嵩上げ(付属物工事に含まれる)にあたり) 従来の施工方法は街渠柵上に板を設置し舗装(中間層・表層)をするが、厚さ 100mm を超えるため、切断時に舗装カッターが必要なうえアス殻も多く発生する。
- (2) 施工期間中の継目部(すりつけ部)の合材が飛散する恐れがある。
- (3) 施工期間は、既設と施工面に段差が生じる。施工箇所は、(国)150号で見通しの良い直線のため、一般車の速度が速く、段差の衝撃が大きくなる。
- (4) 交通規制をする際、予告看板等を設置するが「居眠り、脇見運転」などに起因する「追突事故」は後を絶えない。
- (5) 区画線(矢印)が施工範囲の都合で一部消えてしまう。

## 3.対応策・改善点と適用結果

- (3-1) 街渠柵上に中間層の天端までの高さで、型枠を設置し、中間層舗設後に型枠上に表層を舗設する。(型枠の強度はローが乗っても大丈夫な構造となっている。)

〈結果〉 表層の厚さ(50mm)のためサダ-での施工が可能なうえ、アス殻の量も半分に  
なり、型枠天端を中間層で止めているため、街渠柵の取合いも凹凸なく施工でき  
ました。



〈結果〉 施工期間中すりつけ部の合材の飛散はありませんでした。



(3-3) スコッチテープで目印をして減速してもらうよう促し、すりつけ勾配を1%以下にして衝撃を小さくする。

〈結果〉 通行車両からの苦情ゼロで完成できました。



(3-4) 交通規制手前に体感マット (ビナソグ) を設置する。厚さ 1cm の凹凸が通行車両へ「振動+音」を与え未然にドライバーへ注意喚起を促す。

〈結果〉 一般車両の追突事故ゼロで工事完了できました。



(3-5) スコッチテープで規格寸法の大きさを明示する。

〈結果〉 一般車両が迷うことなく通行していました。



#### 4. 終わりに

今回の工事を受注した段階で、交通量の多い道路での施工をどのような方法で進めれば安全に施工が行えて、地域に対しても配慮できるか検討し、上記内容を確実に実施しました。

結果工事中の苦情もなく、出来栄も良い物ができ工事を完了することができました。